

宮崎県支部

宮崎県におけるサービス産業創出支援の調査・研究

今日、宮崎県におけるサービス産業は、「産業のサービス化」の進展に伴って、全国の推移と同様に一貫してその数と規模の拡大が続けているといえる。宮崎県の産業形態は第一次産業である農業、畜産業、水産業、林業が県内に広く分布し、生産額、就労人口のいずれも他の産業に比べ最もウエイトが大きく、県民の生活や社会的活動の中に浸透しているのが現状である。したがって今回の調査は、常に県の産業構造の特性を意識した上で、宮崎県のサービス産業の創出をテーマとして調査・研究を行った。

第1章では、主に県内周辺地区に所在する第3セクターを母体とする地域サービス産業の実態調査を通じて、現在の経営課題と、今後の事業計画策定上の方向性を提案した。悪化傾向にある地域サービス産業の活性化に貢献が期待される。

次に第2章では、現在「学力低下」や「いじめ」などさまざまな問題を抱えている学校教育を補完する教育サービス産業の現状と課題について説明し、生涯教育の重要性を強調した。社会問題化している重要テーマ解決の糸口となることが期待される。

また、第3章では、我が国の将来の社会経済に深刻な影響を及ぼすことが懸念される「少子化」の問題を取り上げ、宮崎県内における育児支援の取り組みの事例を紹介し改善案を提案した。少子化傾向の歯止めと、状況改善の手がかりとなることが期待される。

なお、第4章では、ISO認証取得の実態を調査の上、さまざまな問題点を指摘し、今後の企業が検討すべき方向性として「自己適合宣言」システムの紹介を行っている。県内中小企業でのISO認証の効率化が期待される。

また論点を、地域振興問題に向けた第5章において、年々衰退傾向にある宮崎県観光事業を取り上げ、中小企業観光ルネッサンスの具体的取り組みとして県南部の日南市を中心とする「県南観光ネットワーク」の事例を紹介した。県内中小企業観光業の活性化の指針となることが期待される。

それに関連した問題として、第6章では新しい業態である余暇関連サービス業として「グリーンツーリズム」を取り上げ、その事例として県内日南市の農家民宿で行われている内容を紹介したグリーンツーリズムの推進と事業の定着を促進することが期待される現状について考察した。

以上のように、今年度の調査・研究は実地に赴き、実態を詳細に調査したケースや、県内で実施されている事例を取り上げ、その内容や課題などの検討を行いながら現在の宮崎県のサービス産業が直面している経営上の課題を明確に把握することに勤めた。そのため、その実態を踏まえて、今後のわれわれ中小企業診断士が県内の中小サービス産業をサポートする場合の中小企業診断士の役割について研究することが出来たものと考ええる。